

◆ 市誌編さんだより Vol.21 ◆

令和2年度内の発行に向けて、現在執筆・編集の作業を行っています。奇数月の1日号にて編さん状況などをお伝えします。

愛知県陶器瓦工業組合聞き取り成果

“シャモット”による瓦リサイクル

昔から瓦産業が盛んであった高浜市において、規格外瓦のリサイクルという全国で唯一の先進的な取り組みを、田戸町にある『愛知県陶器瓦工業組合』が実施していることから、聞き取り調査を行いました。

リサイクルの仕組みは、規格外瓦を「シャモット」と呼ばれる瓦を細かく粉砕した状態にした後、再び瓦用の粘土に混ぜることで自然粘土の量を増やすという仕組みです。この仕組みに、愛知県陶器瓦工業組合はいち早く着目し、昭和60年第一工場を設立。しかしこの工場で作ったシャモットは粒子が粗く、一部しか瓦用の粘土に戻すことができませんでした。そこで平成5年に0.5mmという非常に細かい粒子に砕ける第二工場を設立。この工場ができたことで、規格外瓦の約80%を粘土に戻すことができるようになりました。この取り組み自体も非常に興味深いのですが、さらに興味深いのが残りの約20%の用途です。シャモットは摩擦性や排水性、軽量性、安全性に優れているため、道路の舗装材や防草材など多くの用途があります。最近ではその温かみのある色の魅力からガーデニング材としての人気も獲得しており、令和2年7月にオープンした岡崎信用金庫 高浜支店でもそのようすを見ることができます。

これまでの高浜市誌には載っていない、このような瓦産業の新たな取り組みや展開を掘り起し、記録として残すことも今回の『新編 高浜市誌 高浜市のあゆみ』編さんの意義であると考えています。



愛知県陶器瓦工業組合 第二工場
(愛知県陶器瓦工業組合提供)



0~2mm



2~5mm

シャモット
(愛知県陶器瓦工業組合パンフレットより)



蛇抜橋付近の遊歩道にも「シャモット」が
使用されています。

市誌編さんの現場から

⑧

調査のなかで新たに見つかった高浜にまつわる「ヒト・モノ・コト」などの情報を速報として紹介します。今回紹介するものは、これまで発掘された資料のほんの一部です。事業が開始した平成28年度から現在まで、市民の皆さんからも情報をいただき、貴重な発見がたくさんありました。5年計画ですすめている市誌編さんもいよいよ大詰め。これからも皆さんの協力をよろしくお願いします。

- ◇自宅や地域に、高浜に関する書物、写真、チラシなど(特に明治時代～昭和)がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。
- ◇「市誌編さんに興味があるので参加したい!」という方は連絡してください。資料整理、調査、聞き取りなどを通して、新しい市誌を一緒に作りませんか?
- ◇市誌編さんに関する内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページでも紹介しています!

問合せ先 [いきいき](#) 文化スポーツグループ ☎52-1111 (内線330)